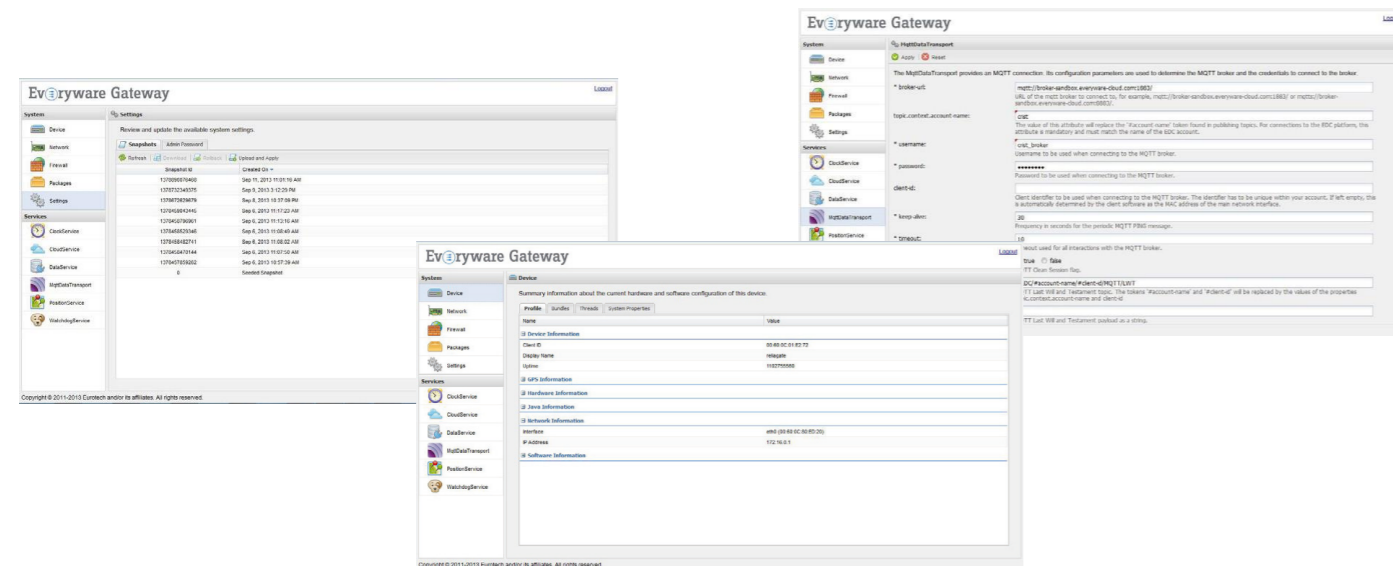
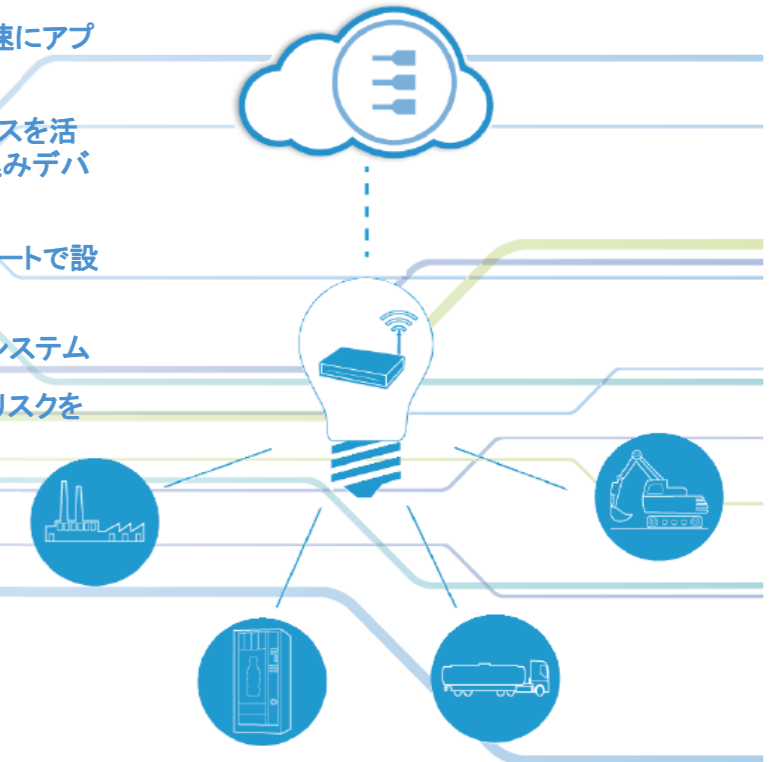


Java バージョン	Oracle Java SE Embedded 7, Open JDK 7
OSGi コンテナ	Hitachi Super J - R4.3 , Equinox - R4.3
デバイス アブストラクション	シリアルポート、USBポート、Ethernet、WiFi、GPS、セルラーモデム、ウォッチドッグ、CANポート、デジタル&アナログI/O、他
ゲートウェイ ベーシック サービス	ESF プロパティ、デバイス プロファイル、デバイス プロセス、セルラー管理、シリアルポート管理、Bluetooth管理、USBポート管理、タイマ、診断モニタ、ESF syslog、Ethernet管理、WiFi管理 (Client & AP)
ネットワーク コンフィグレーション	DNS、IP、NTP、DHCP、NAT、VPN、SSL/TLS、ファイアウォール
コネクティビティとデリバリ	MQTT v3.1、メッセージング キュー サービス、トランスポート アブストラクション、パーシスタンス コンポーネント、コネクション マネージャー サービス、Everyware Cloud クライアント、その他のクライアント
フィールド プロトコル	Modbus、CANバス、ターミナルサーバ、ターミナルクライアント、EVA-DTS、他
オペレーションとマネージメント	リモートアップデート、リモートコンフィグレーション、ロールバック、スナップショット、リモート システム コマンド サービス
アドミニストレーション GUI	グラフィカル デバイス&サービス コンフィグレーション、ローカルソフトウェア &ファームウェアアップデート
アプリケーション	データベース サービス、Http サービス、App segregation、App configuration、App intercommunication、App introspection
開発ツール	Eclipse IDE



Everyware Software Framework

- M2M Javaパッケージとサービスを使用して迅速にアプリケーションを開発
- フィールドで実績のあるネットワーキングサービスを活用し、セキュアなネットワーク セントリックな組み込みデバイスを構築
- ライフサイクルを通じて、アプリケーションをリモートで設定、アップグレード
- バックエンド接続のための強固なキューイングシステム
- 製品を迅速に市場に投入するとともに、労力とリスクを想定できるようにするとともに軽減



機能概要

ユーロテックのEveryware Software Framework (ESF)は、マシン・ツー・マシン (M2M) やモノのインターネット (IoT) のアプリケーションを構築するために特化したデバイスアプリケーションフレームワークです。ESFは新世代のコネクテッドスマートデバイスやアプリケーションを構築するために、費用対効果が高く、フレキシブルなIT指向のフレームワークを提供します。

ESFは次のような、フィールドで実績のあるM2Mビルディングブロックを提供することにより、開発者がアプリケーション作成に集中することを可能にします。

デバイス アブストラクション:

無線LAN、セルラー、GPS、シリアル、USB、CANポート、デジタルI/O、アナログI/Oなど、すべてのハードウェアインターフェイスについて、一貫した完全なJavaのソフトウェア アブストラクションを提供します。

ゲートウェイ ベーシック サービス

時刻同期、シリアルポート設定、アプリケーション監視、セルラー接続管理、Ethernet管理のサービスがすぐに使用可能です。

ネットワークのコンフィグレーション:

IP、DHCP、NAT、NTP、およびファイアウォールなどのネットワークサービスが、簡単に設定することができます。

コネクティビティとデリバリ:

デフォルトのサービスとして、洗練されたキューイング、常時接続機能と接続の自己修復機能が含まれています。

フィールドプロトコル:

フィールドで検証済みの産業用、トランスポート用、ヘルスケア用プロトコルは、Java APIとして利用可能です。

運用と管理:

アプリケーションのライフサイクルすべてをリモートで管理することができます。最初のインストール、アップグレード、設定、およびデバッグは、標準で信頼性の高い手法を用いて実装することができます。

アドミニストレーションGUI:

モダンなユーザーインターフェースは、サービスとアプリケーションのローカル設定と、デバイスの設定を可能にします。

アプリケーション コンテナ:

アプリケーション開発をスピードアップするサービスとして、データベース、起動と停止、隔離および監視は、フレームワークでデフォルトで提供されます。

これらのサービスを使用して、開発者は業界標準のEclipse IDEに完全に統合された開発環境と、OSGiアプリケーションコンテナを含むJava環境の中で最先端のM2Mアプリケーションを迅速に構築することを可能にします。

機能ビルディングブロック

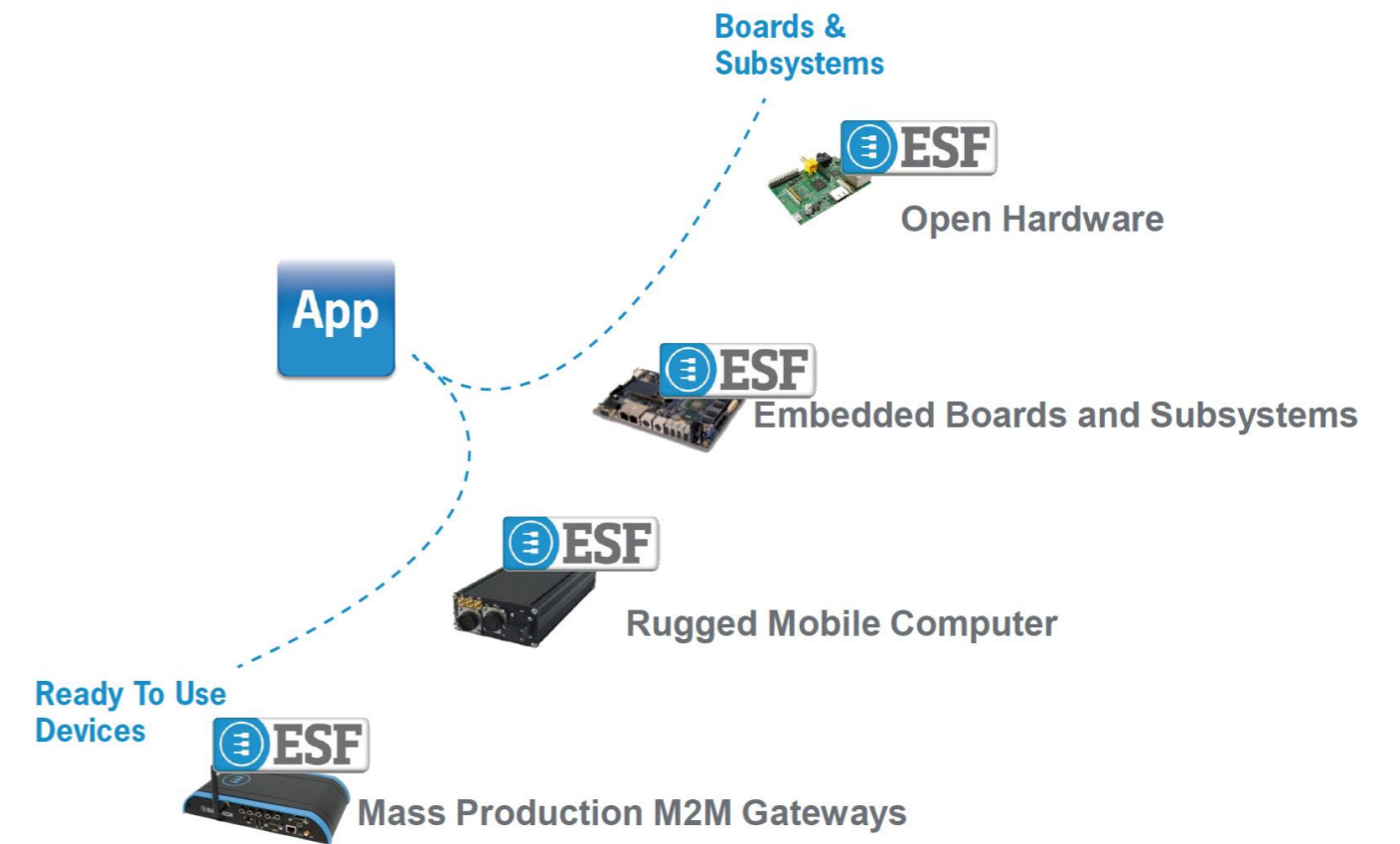
ESFは、リモート接続環境、ネットワーキングデータ、およびデバイス管理ソフトウェアビルディングブロックを提供します。開発者はセキュアにクラウド接続できるスマートデバイスのアプリケーションを、迅速に構築することに集中することができます。

開発者は実際にM2M組み込みシステムのアプリケーションを設計するときに、ハイレベルのJavaプログラミングソフトウェアインタフェースとサービスを使用できるという、すべてのアドバンテージを得ることができます。



ハードウェアの移植性

ESFは、作成したプログラムを容易にデバイス間で移動できる自由を与えられるように、アプリケーションをハードウェアから分離するように設計されています。ESFは、多くのユーロテックM2Mゲートウェイとボードのみならず、オープンなハードウェアデバイスでもすでに利用可能です。



ESFの利点

- M2Mビルディングブロックを活用することにより、開発時間を短縮
- 標準のJavaとOSGiテクノロジーを使用してコードを書くことが可能
- 高度なネットワークサービスを迅速に設定
- クラウド接続のprotocolsとキューイングメカニズムがすでに利用可能
- リモートデバイスとアプリケーション管理は組み込み済み
- アプリケーションをエミュレートされた環境で設計してターゲットに移行可能
- Eclipse IDE用のESFプラグインにより、すぐに開発をスタート